これは、1981 年に西ドイツでリナ•ハイドリヒに対して行われた非常に珍しいインタビューです。リナはラインハルト•ハイドリヒの忠実な妻であり、国家社会党の熱心な党員でした。彼女は1929年にアドルフ•ヒトラーの演説を聞いた直後にNSDAPに参加し、その直後にラインハルトに会った。リナはラインハルトの人生に大きな影響を与え、彼を親衛隊に導いたこともありました。



第三帝国と戦争、そしてあなたの夫のラインハルトについて覚えていることについて、いくつか質問したいと思います。

リナ ：はい、はい、聞いてください。あなたと話せて、思い出したことを話せてうれしいです。

あなたは早くから党員であり、ご主人に親衛隊への参加を奨励していたとのことですが？

リナ: はい、私には自分の国がどうなったかについて動揺している兄弟がいて、ナチスにはドイツを救うビジョンと答えがあったのです。彼は私に文献を読んだり、講演会に行ったりするよう勧めました。私はヒトラーと個人的に知り合い、非常に感銘を受けました。彼の言うことが正しいことはわかっていました。私が NS 党に参加し、元夫に会ったとき、SS でのキャリアを追求するよう彼に勧めたのは事実です。

ドイツの赤党は主にユダヤ人によって率いられており、初期の党員に対して非常に残虐な態度をとった。彼らは家に爆弾を投げ込み、SA隊員を襲い、多くの人を殺害した。私も彼らと取引がありました。彼らは党員を解雇しようとしたり、嫌がらせや脅迫を行ったりした。 SAはそれと戦うためにタフでなければなりませんでしたが、彼らのほとんどが元兵士であり戦うことができたので、彼らは良い仕事をしました。 SS は講演者を危害から守るために結成されました。なぜなら、これらのギャングが会談や会合に来たからです。

乱す。

ヒムラーについて他に何を知っていますか?

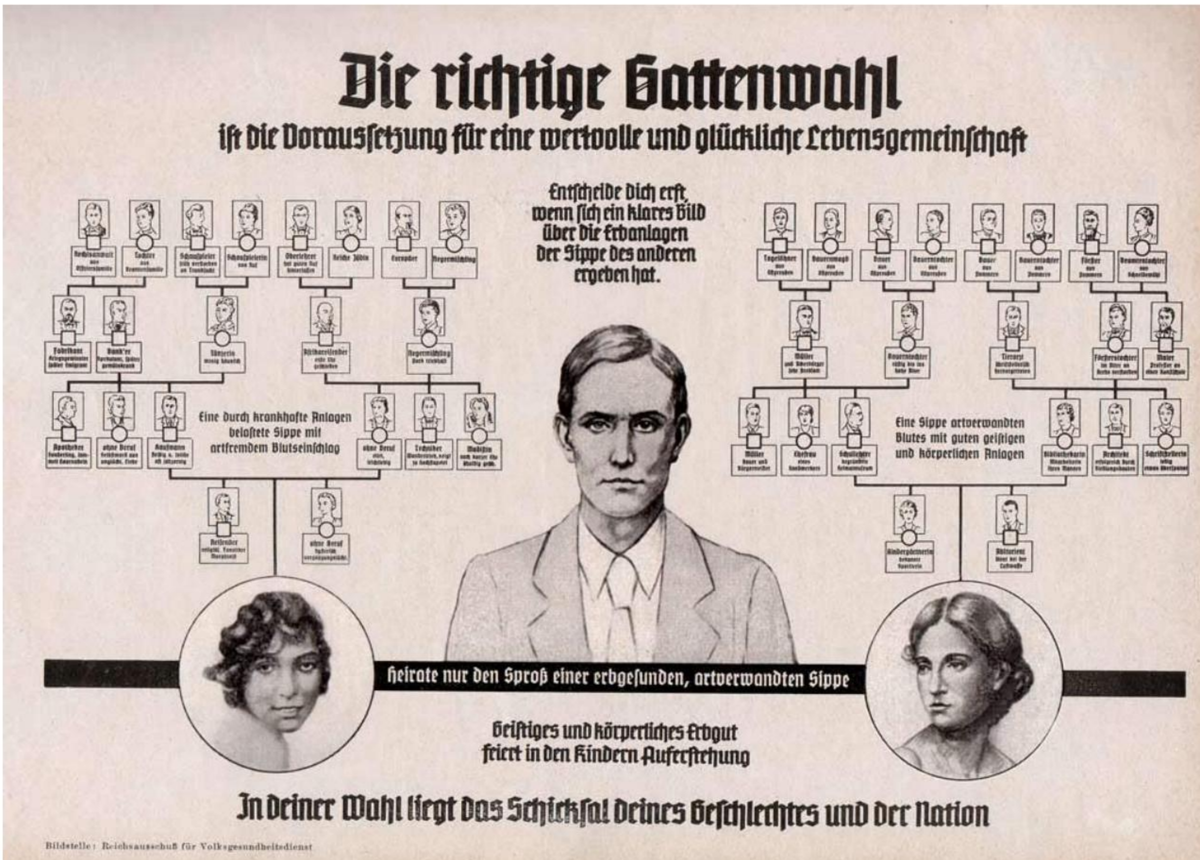
リナ: 国家総統 SS ヒムラーは夢想家でした。彼は素晴らしい新しい世界に対するビジョンを持っていました。ゲルマン民族が安全で安心できる場所でした。彼はとても親切で、特に夫の妻や家族が殺されたときは常に細心の注意を払っていたのを覚えています。彼は、勇敢で名誉ある忠実な人々からなる高貴な騎士団である部隊を創設しました。私を悩ませたのは彼の結婚のことだけだった。彼は彼女に不満を持ち、年下のかわいい秘書を求めていました。しかし、それはすべての社会、特に今日では一般的なことのようです。彼は最初の妻と非常に良好な関係を築いており、彼女をとてもよく扱っていました。



彼はゲルマン人の血統に対して戦争が仕掛けられていることを理解し、その戦争を終わらせて被害を元に戻すために働きました。彼のアイデアやビジョンを聞くことができて本当に楽しかったです。もしドイツが戦争に勝っていたら、私たちは今、全く新しい世界を見ることになるでしょう。

として？

リナ: ヒムラーは、人種汚染によってアーリア人の血統を積極的に破壊しようとしているユダヤ人と呼ばれる人種が存在することを理解していました。彼らは数千年にわたってこの戦争を戦ってきましたが、私たちの人々はそのことに気づいていません。今日の「知識人」は人種を重要ではないと描いており、人種を汚さないことを主張する人は誰でも悪い人です。親衛隊は、ヨーロッパのゲルマン民族が人種がすべてであり、生存が保証される生活を送ることを望んでいた。



配偶者の正しい選択
このチャートはDr.が作成したものです。ナチス党人種政策局副局長フレックスの初版は 1935 年に出版されました。
ここに掲載されている版は 1942 年のものです。

それが、非常に多くのヨーロッパ人がSSに来た理由です。彼らは、ユダヤ人のマルクス主義の危険性が増大しており、いわば無知な大衆を利用して自殺させようとしているということを理解していました。それは人間をシステムの奴隷として使用し、人間が無防備になると、あらゆる種族をその領域に吸収することを強制し、最終的には人間を追い越して置き換えます。この考え方を逆転させ、多くの健康なヨーロッパの子供たちを国民に与えることが親衛隊の任務でした。これは、主張されているような欠陥のある人間を殺すことを意味するのではなく、配偶者が健康で欠陥がないことを保証するための選択的繁殖を意味します。これにより、健康な血統が保証され、すべての人の生活が楽になります。無責任な親が交配の結果を気にしなかったために、欠陥のある子供たちが単に望ましくないものとして無視されている療養所を訪れるのは悲しかったです。

旦那さんもそう思ってたんですか？

リナ ：はい、そうでした。私たちはヨーロッパ人の血を気にしない世界で育ちました。私たちの血統が決して参加しないのは当然のことだと常に思われていました

困難が生じるだろう。最初の戦争はそれが起こり得ることを示し、ヨーロッパの神聖な血はユダヤ人と彼らを定住国に持ち込む大群の外部影響から守られなければならないと警鐘を鳴らした人もいた。私の夫はこれをよく理解しており、この問題については国家総統 SS ヒムラーに完全に同意しました。



彼はこれから会う子供たちを気の毒に思い、遺伝学と子供を産む際の賢明な決断についての教育を奨励した。残念ながら、誰もが健康な子供を産めるほど健康であるわけではなく、子供が健康に生まれないと、人々は子供の世話に苦労します。したがって、自国民の制御不能な衝動を責めるのは不公平です。健康な人にとって遺伝はすべてです。

難しい質問をさせていただきますが、あなたのご主人はチェコスロバキア国民にあまりにも悪かったために殺されたと読みましたが、それは本当だと思いますか？

リナ: いいえ、実際にはその逆が真実です。私もそこにいて、夫は私を自分の仕事に関与させることはありませんでしたが、人々がどのように扱われ、どのように行動するかを見ました。夫が保護者に任命されたとき、それはまさにその言葉の意味通り、保護することを意味していました。この地位に就いた彼は、NSドイツが他国に友好的だったが、前の指導者が反ドイツ的だったため、チェコ人がまったく同じ扱いを受けなかったことにがっかりした。

彼はこの状況を変えるために取り組み始め、配給、労働条件、有給休暇と旅行を改善し、管理を減らし、自分へのアクセスを増やすことを布告した。彼は国民がドイツの勝利を支援することを望み、国民の声は必ず届くと約束した。それはうまくいき、生産量は急増し、妨害行為はなくなりました。彼が悪いから殺されたというのは大嘘だ。実のところ、彼はとても優秀で人々に好かれていたため、殺されました。殺害を画策した連合国はこの機会に乗じて高官を殺害したが、これは戦時規則に違反した。共産主義者たちはイギリス人によって訓練され、密入国した。



1942年6月7日、プラハ城の中庭にて。ラインハルト•ハイドリヒの遺骨が納められた棺が展示されている。

プラハの人々の悲しみと支援は否定できず、別れを告げる長い行列ができました。もし彼が勝者らが主張するような「死刑執行人」だったら、彼らも同じことをしただろうか ?夫が人々に示した多くの思いやりと慈善行為を覚えています。彼は常に活動中の NS の良い模範でありたいと考えていました。夫が私に話してくれた話を思い出します。1939年、チェコ人家族の娘がポーランド人男性に強姦され、逮捕されたもののポーランドの法律に基づいて起訴され、投獄されました。彼らは私の夫のところにやって来て、ドイツが襲撃が行われた地域を支配していたため、ドイツの法律に基づいて裁判を受けるよう要求しました。

夫は事件を精査し、ドイツの法律に基づいて地元警察に強姦犯を逮捕し処刑するよう命じた。

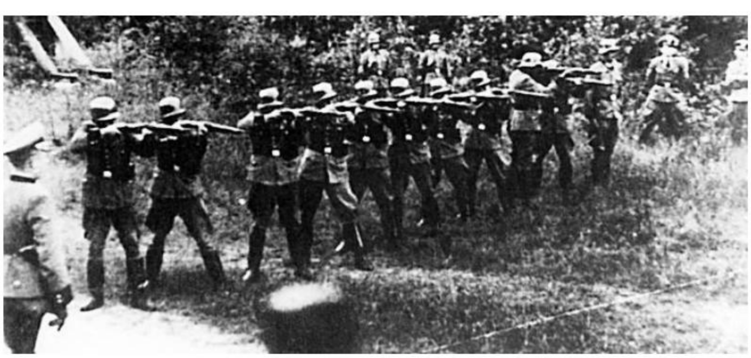
家族は花と贈り物で彼に感謝し、娘が襲撃者がまだ生きていることを恐れて生きる必要がなくなったと伝えた。


チェコ人が別れを告げている非常に珍しい写真です。ここでは人々の長蛇の列がよくわかります。

リディツェと彼の殺害後に起こったすべての死はどうなったのでしょうか?

リナ :名前を聞いたのは戦後になってからです。私の知る限り、チェコにはドイツの支配に抵抗する小さなグループがあり、彼らはパルチザンと呼ばれています。グループの一部は暗殺のための資金と資材を入手するためにイギリスに行き、持ち込んだものをリディツェに保管した。町の人々は皆、彼らがそこにいて、何をしているのかを知っていました。彼らは連合国が彼らを助けに来て、ドイツ人はすぐに消えるだろうと国民に約束した。

町の人々は不法に彼らを助け、匿った。誰も警察に通報しなかった。連合軍の武器や通信機器を家に隠すことを許可した。彼らは政府に対する違法作戦を受動的または積極的に支援したために非正規になった。男性は射殺され、女性は投獄された。ドイツ警察はバルカン半島と最前線でテロリストの厳しい現実に直面した。さらなる攻撃を阻止し、責任者を処罰するには厳しい措置が必要だった。他の SS 隊員から聞いたところによると、彼らが戦ったテロリストはサディスティックな殺人者であり、名を上げるために罪のない人々を頻繁に殺害していたそうです。


リディツェ、1942年6月10日。ホラーク家の農場で村の男たち全員を一度に10人ずつ処刑するSS銃殺隊。

これらの人々が今日英雄として讃えられ、公園や通りに彼らの名前が付けられているのは興味深いと思います。もし世界が真実だけを知っていたら、それは軽蔑され、非難されるでしょう。

あなたの夫は、国家総統 SS ヒムラーのような宗教や異教の習慣を信じていましたか?

リナ: あなたの質問が正しく理解できれば、私の夫は宗教に関してヒムラーのように考えたのですか?私の夫はクリスチャンで親衛隊隊員だったので、それを説明しようと思います。 SS は人々への愛、過去への敬意、そして私たちの起源の尊重に基づいた部隊でした。親衛隊ヒムラー総統が何時間もかけて考えたテーマは、我々がどこから来たのかという問題だった。ほぼ全世界がどうしてそうなるの ?

たった一つの種族によって征服され､影響を受けているのでしょうか ?この犬種が特別な理由は何でしょうか?これがアーネンエルベが研究するはずだったものであり､SSがそれを支援した理由である。



1943 年､ウクライナのソロニエでの発掘

いつかアーネンエルベの遠征隊が注目される日が来ることを願っています｡東洋､エジプト､アメリカ､そして世界中でアーリア人のミイラの噂を聞いてきました｡これらは､いわゆる先住民族の歴史よりも古いものです｡親衛隊は､私たちの民族がペルシャの地域で始まったが､世界中に広がったことを証明したかったのです｡異教のシンボルとのつながりは､ヨーロッパにやって来て大規模で進歩的な社会を形成した祖先への敬意からにすぎません｡チュートン族はほぼすべての偉大な発見の原動力であり､これは私たちの過去であるため､私たちは彼らのシンボルを尊重します。

今日､ドイツの教会が広めている嘘は､親衛隊が宗教を憎み､教会を迫害したというものですが､これは誤りです｡ドイツの異教の過去とキリスト教の現在の間には奇妙なつながりがありました｡親衛隊の中には､過去と結びつけ､キリスト教をユダヤのおとぎ話として拒否したいだけの人もいました｡しかし､国家総統親衛隊ヒムラーは､今日のユダヤ人は聖書に書かれているのと同じではないのではないかという問題を提起した｡おそらく彼らは､創造主の真の偉大な種族のアイデンティティを盗んだ嘘つきで詐欺師です。



SS は反宗教的ではありませんでした｡ほとんどすべての SS 隊員と同様に､私たちは教会の礼拝によく出席しました｡私たちが拒否するのは､私たちの宗教と歴史に対するユダヤ人の影響です｡その前に､マルティン•ルーサーは､ユダヤ人がずっと前に初代教会を乗っ取り､影響を与えようとしていたと警告しました｡夫はそれを理解できない教区民たちと格闘していました｡彼らにとって彼らは

ユダヤ人は選ばれ、保護された人々であり、どんなに邪悪であっても創造主によって何よりも優先されていました。このような醜くて憎むべき民族が選ばれた民族であり得るなどと考えるのは、一体何の狂気でしょうか？

元SSの仲間たちとは今でも連絡を取っていますか？

リナ: はい、SS は常に彼らのことをできる限り最善を尽くして世話します。私の夫には非常に忠実な友人や同志がいました。人懐っこさと率直な物言いでとても人気がありました。彼のために働くのは難しいこともあったと思いますが、常に尊敬されていました。私はそれを必要とする元SS隊員をサポートします。夫は北海に宿を持っていて、私はそこに多くの友人を泊めていました。政治的性格のため焼き払われたのだと思います。



フェーマルン島のハイドリヒのビーチハウス

私は今でも夫の友人の多くと連絡を取り合っていますが、残念なことに、時間の経過により、ますます多くの友人があの世に召されてしまいます。私は、連合国がナチズムとヒムラーを死刑に値する犯罪としたにもかかわらず、ナチズムとヒムラーに忠実であり続けた多くの人たちにいつも感銘を受けてきました。今日でも、脅迫や憎しみによって断ち切ることのできない強い絆が存在します。総統は、これほど多くの人が NS とそれに対する私たちの信念に忠実であり続けたことを誇りに思うでしょう。

あなたにとって戦争の終わりはどうでしたか？

リナ ：ひどいですね、最悪の思い出です。
夫が自分が築き上げ、愛したものの崩壊を見ていなかったことを時々うれしく思います。夫の暗殺により、総統は私の家族に相続財産を与えました。戦争が終わったとき、レッズが来て、ひどい残虐行為について警告を受けたので、他の人たちと一緒に逃げました。



飛行機が難民を爆撃していて、子供たちも一緒だったので大変でした。軍が完全に崩壊すると、パルチザンもその地域に侵入し、これらのギャングが多くの兵士を殺害した。私は幸運にも帝国に入ることができましたが、連合国は私を戦犯の妻として逮捕しました。私は、逃亡して連合国の通訳や警備員として戻ってきた元ドイツ人たちから罵倒され、嫌がらせを受けました。

私は強制収容所を描いた映画を見させられ、そこで見たものに衝撃を受けました。しかし、親衛隊の医師は、収容所への物資が崩壊したため、連合国が間接的に収容所の囚人を殺害したと私に説明した。 1944 年末から 1945 年初頭にかけて、東部からの汚い捕虜が収容所に感染しました。その結果発疹チフスが発生し、連合国ですら制御が困難であることがわかりました。彼らはプロパガンダの手法を用いて、人々に政府による殺害政策があり、これが証拠であると信じ込ませました。彼らは私の夫がすべてを始めたと主張しましたが、私は彼にそれができる能力がないことを知っていました。彼はほとんどのユダヤ人が好きではなく、世界が平和に暮らせるよう、彼らは元の場所に再定住するべきだが、殺されることはあってはならないと述べた。



ベルクホフのハインリヒ•ヒムラー、ラインハルト•ハイドリヒ、カール•ヴォルフ。 1939 年 5 月にエヴァ ブラウンが撮影した無声カラー映画。

あなたの夫はヒムラーに同意しなかったことはありますか？

リナ: そうそう、彼は結婚、宗教、戦争行為に関する国家総統親衛隊ヒムラーの考えの一部について話したことがありました。しかし、ほとんどの場合、彼らは同意し、同じ信念を持っていました。しかし、例えば、私の夫が夕食時に自分の考えに踏み込みたがらなかったため、国家総統親衛隊ヒムラーは激怒しました。

彼は常に会話を音楽や明るい話題に誘導したいと考えていました。

前に述べたように、国家総統 SS ヒムラーは夢想家であり、先見の明のある人でした。彼は、ドイツの存在、ひいてはゲルマン文化を守るための自分の計画が何であるかを皆に知ってもらいたかったのです。ヒムラーは輪廻転生を信じ、自分がハインリヒ王であると信じていましたが、夫もその考えは可能かもしれないと同意しました。次の人生が何をもたらすかは誰にもわかりません。だからこそ、時々夢を見るのは良いことなのです。

リナ•ハイドリヒ (wikipedia)
ラインハルト•ハイドリヒ





